

# すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES 10

平成22年7月28日発行

発行元：かわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.4

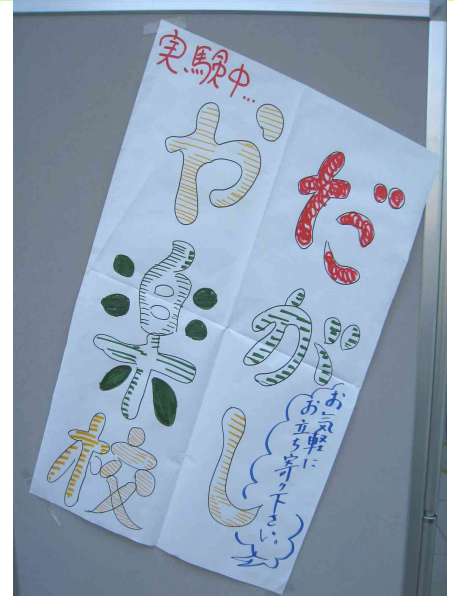
## だがしや楽校、実験中… 試行錯誤から生まれる新たなアイデア！

7月23日  
昼コース

昼コース4回目は、前回行なった、自分のお気に入りを見せ合う「自分みせ(店・見せ)」を、教室から外に出て道端で社会実験。松田さんは言う。「子どもたちの理科の実験をする感覚で、大人である私たちは社会の中でさまざまなことを実験的に行なってみましょう。実験をしてみると、予想もしない出来事が起きて、それが新しいアイデアや学びにつながることはたくさんあります。大いに社会実験してみましょう！」。そんな言葉を聞き、さっそく教室から外に出、思い思いに机を並べ、「自分みせ」を作る受講生たち。

自分が強く関心のある「文楽」や「高齢社会の問題」の資料、自分で作ったガラスの器や小さな布ぞうり、近所の駄菓子屋で買ってきた懐かしの駄菓子(即席のクジ付)などが机に並び、モノだけではなく得意技の「手品」を見せる方も。中には、「自分は何が見せられるだろう?」と、今日の持ち物を見渡したところ、「自分の作った扇子があった!」とそれを出してみたり…。また、実験をする中で、「看板必要じゃない?」、「机はもっと通りに面したところのほうがいいよ!」、「もっと目立つように並べ方を工夫しようよ!」など、思いついたアイデアを出し合って試行錯誤する受講生たち。そうした様子を見て、意外にも道行く人が立ち止まって声をかけてくださり、自然と会話も生まれた。前もってPRをしたり、大きな準備をしなくても、フラッと手軽にモノを出してみることで、そこに相手とのコミュニケーションが生まれる場を簡単に創れることを体感した。

「だがしや楽校」の社会実験を終えたあとは涼しい教室に戻り、さっそく感想を言い合う(下記)。次回は、今日実験したことをもとに、どんな「だがしや楽校」を開けるか、アイデアを出し合う予定。猛暑の中、外での実験お疲れさまでした!!(記事:川上)



看板が必要!とのことから、即席で作った「だがしや楽校」実験中...



手作りのパッチワークを見せた大浦さん。道ゆく人に、「きれいねえ〜」と声をかけられ、作り方を説明。

手作りの小物、近所の駄菓子屋で仕入れた駄菓子(即席クジ有)などが並ぶ。



### 今日の、だがしや楽校実験はどうだった? 参加者の声より

#### 感想

- ・おっかなびっくり、自分のお気に入りを出してみたが、モノがあると、誰かが話しかけてくれることを実感。
  - ・「自分みせ」を出すにあたって、自分の身の回りを眺めるいい機会となった。案外、いろんなことをやっている自分に気づく。
  - ・外でやってみると、意外と通りがかりの人が足をとめて話しかけてくれるなど、反応があって驚いた。
  - ・平面に並べていたが、みんなで「もっとよく目立つようにしよう」と、木にかけたり、立体的に並べてみた。
- #### 気づいたこと
- ・通行人役になって、全体を眺めてみると、何をやってるかよくわかるのぼりとか、チラシのようなものがあればよいと思った。
  - ・「自分みせ」をもっとわかりやすく紹介できるように、自分自身の中で言葉を考えておいたり、ミニチラシのようなものがあると、もっとよいと思った。

7月21日  
夜コース

# 社会起業家の視点で杉並を見ると？.. 杉並の課題を考えてみよう

## 課題って何だ？？

課題 = 理想 - 現状

- ・「現状」は客観的に把握できる。分析可能。
- ・しかし「理想」は、人々の“想い”から生まれる。客観的な唯一正解の答はない。
- ・同じ「現状」を見ても、「理想」が違えば、「課題」は異なる
- ・「何をすべきか」の前に、「取り組むべき課題は何か？」を。その前に「現状」と「理想」の認識の共有を。

(広石さんの資料より)

懇談・相談をしながら、自分の課題を発表！



私たちは「課題」と言う言葉を良く使うが、そもそも課題ってなんだろう？「たとえば投票率が45%で、それを53%に上げると80%に上げるのでは取り組み方が違ってきます。この取り組みが課題であり、ゴールを見て課題を決めるのです。取り組むべき課題を考えるステップとして、現状と理想を明確にすることが重要になります。」と広石さんは言う。

それぞれがシートを使って、杉並の現状、理想、そして課題について考えてみた。杉並だけでなく社会全体に対しての現状を憂いている受講生も多かった。それぞれのグループで発表しあい、他の人の思わぬ視点に感心することしきり。「近隣の人付き合いが薄い」という現状も「それぞれの生活に入り込むほどのつながり」は求めているということもわかり、「ほどよいつながり」ができるためにはどうしたらよいかという課題に姿を変えることも実感。

自分自身の中で気付くのと同じくらいに、コミュニケーションから生まれる気付きは重要である。できる人(存在)ができない人(存在)を助けるという一方通行でなく、人(個人)・行政・企業のできること・できないことを双方向につなげて行く社会起業家としての考え方に、この気付きは大いにプラスに働くことに違いない。(記事:湊)

広石さんより



質問に答えます！

## ソーシャル・アクション or ソーシャル・ビジネス？

前回、「ここでのソーシャル・アクション=ソーシャル・ビジネスなのですか？」という質問をいただきました。

今回の大人塾夜コースは、社会起業やビジネスのみが対象ではありません。ボランティアとして、社会活動に参加したい方も、もちろん対象です。最初3回で、社会起業を強調して取り上げてきたのは、持続可能な社会活動を展開するためのポイントを、社会起業家の事例から考えていただくためです。社会にある資源と困っている人の具体的な生活ニーズを結びつけて、社会的成果を生み出す。そのために、どのような付加価値を生み出せばいいのか考える。この発想は、ボランティアとして参加する場合でも、自分は何をすべきか考えるヒントとなります。秋の活動を作るステージでは、ボランティアやチームづくりなどの解説やワークも増えていきます。

じゅく と

大人塾に参加中の...イカした！大人たちに聞きました！

## 今月の大人“塾っ人”

出身 自分にキャッチコピーをつけたら？ 自分のつながりPR

**小澤 恵一 (昼)**  
オザさん  
東京都  
相互つながりを！コミュニティを！  
実務経験は長い！いろいろ知っているつもり!?

**山田 正紘さん (昼)**  
東京都杉並区  
パソコンのプレゼン(パワーポイントなど)ならおまかせください！

**太田 武志**  
武ちゃん 東京都  
「居酒屋の武ちゃんステキです」  
当然本当の居酒屋ではありません。酒が大好きです。  
今年で古希を迎えます。

**鈴木 良一**  
リョウさん 杉並区  
「段取りと事務の仕切り」はおまかせ下さい。  
東京消防庁応急手当普及員講習、先日受講終了しました。(すぎなみ地域大学)

すぎなみ大人 塾 してる？の発行にあたって  
この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。